

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・空き店舗が減ってきており、商店街はにぎわっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・昨年夏より観光客が増加しており、比例して来客数、購買客数ともに増えている。個別商品ではより低単価なものが求められているが、数量が増えているため客単価は上昇している。
	やや良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・徐々にではあるが販売量が拡大している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・少しずつながら来客数は確実に伸びている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・時計や宝石などの貴金属は売れていないが、眼鏡を購入する客は増加している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・売上は横ばいであるが、比較的単価の高い売行きが以前より若干良くなってきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・お洒落に関心を持つ客が増えており、土曜日曜は運動靴よりもカジュアルシューズの売上が増加してきている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・客の購買意欲は少しずつ向上しているようで、宝石の展示会では来客数が増え売上も予定を上回っている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・こちらが勤める商品を購入してくれる頻度が以前より増えている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・週末はあまり良くないが、100円均一などのセールでは前年比100%を超えるようになっている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候にも恵まれ、来客数が増加している。おにぎり、弁当や冷麺などの前年比の伸びも良い。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・天候にも恵まれ、米飯や調理麺などを中心に売上が好調である。売上前年比は102.7%となり、久々に100%をクリアしている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・一般客数は土曜日曜を中心に増加傾向にある。また、新商品の売行きも良くなっており、全体的にみても売上前年比は回復してきている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・店舗改装の効果がでてきており、気温の上昇とともに来客数は改善している。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・ファッションのカジュアル傾向もあり客単価は上がらないが、数量の伸びが一部のアイテムで見られる。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・若干ながら販売量が改善してきている。
		その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・単価は低いが、卒入学や入社シーズンで商品は動いている。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	販売量の動き	・商品の販売数が増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・団体割引を実施しているため、若干ではあるが団体客を呼び込んでいる。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・春のシーズン企画の客が大変伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊稼働率、宴会件数とも前年比で伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・浜名湖花博の需要のため、宿泊やレストランの個人利用が増加している。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・静岡県東部で経営するリゾートホテル、旅館の予約は、前年比で4月が128%、5月が138%、6月が129%と良くなっている。浜名湖花博の影響もあるが、来客数はかなり増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・団体旅行の動きが本格化している。上期の海外団体旅行では前年同期の倍以上の収入が見込める。前年はSARSの影響があったとはいえ、非常に大きな動きである。

	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人にゆとりが出てきている。ゴールデンウィークの日程の良さも手伝って、旅行に出かける人が大幅に増えている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・金曜日の夜の歓楽街には客が確実に戻ってきている。
	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・キャンペーンを行っていることもあり、折込チラシに対する反響や体験イベントへの集客が良くなっている。
	観光名所（案内係）	お客様の様子	・例年より若干明るくなっている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・アパートや賃貸マンションの受注が堅調に伸びている。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年に比べて天候が良く、人もやや多い。そのため販売量もやや多くなっているが、単価は依然として低い。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず耐久消費財の需要は伸びておらず、苦戦している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は、気に入ったものであれば少々の単価なら気にしなくなっている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・季節商品があまり売れず、販売量が伸びていない。
	商店街（代表者）	単価の動き	・客単価は落ち着いており、変化がなくなっている。 ・昨年に比べて同業者の廃業数が減少している。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きにはほとんど変化がない。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・高額商品を平気で買っていき客も最近では増えているが、全体としては値引きが大きい商品を買っていく客が多く、単価は低い。また、安くてもいくつも買う傾向はなく、必要な量だけ買っていく。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・内税化に伴い当店では実質的に値下げしているにもかかわらず、売上、販売数量とも前月と変わらない。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平年に比べ天候が不順のため、衣料の衣替えが難しく、春物を購入する客が特に少ない。
	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年を10%程度下回っている。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・紳士服や子供服の売上は回復してきているが、主力の婦人服の売上は前年並であり、パンツやスカートが不調である。店全体では前年並の売上を何とか確保している。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・安い商品しか売れず、また安くても量が売れない。客は計画的で一定数しか購入せず、財布のひもは固い。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然として95～96%で推移しており、回復の兆しは見られない。買上点数、単価とも低い状況が続いている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は若干増加しているが、客単価や一品単価は相変わらず低い。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・近くにミニスーパーが開店したため食品、菓子などは売上が減少しているが、人通りが増加したため本や雑貨などの売上は増加している。 ・清酒パック、缶ビール6缶パックなどのアルコール類は価格を安く設定しているため好調である。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・競合店が2店減った割には、販売量、来客数ともに変化していない。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・気温が高い影響で、菓子、飲料やアイスクリームなど前年比増の商品群も出ている。しかし総売上では前年を下回っている。
	コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・都市部での販売量は増えているが、地方での販売量は横ばいもしくは減少である。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客の様子からみると、新聞などで言われるような上向きの状況ではない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・良い状態で推移している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・全体的に決して悪くはないが良い要素もない。販売台数も多くなく、もう少し動いても良いはずであるが、客の動きは鈍い。	

自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・低額商品の売行きは好調だが客は高額商品には消極的であり、単価が伸びず売上は低迷している。客数を維持するのがやっとの状態である。	
住関連専門店（店員）	販売量の動き	・売上は前年比で横ばいの状態にあり、既存店が下げ基調であるのは変わらない。	
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	お客様の様子	・仕入及び買付けの価格が厳しい。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年4月の落ち込みに対する反動増で来客数は前年に比べて増えているが、基調は変わっていない。一品料理の推奨などの販促努力で客単価を上げ、売上を確保している。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新年度で例年なら朝でもサラリーマンが4～5人でコーヒーを飲みに来ることもあったが、今年は目立った動きが見られない。	
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きは良い時もあれば非常に厳しい時もあり、全体としては依然として良くない。	
都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・名古屋のホテルの客室稼働は比較的良い。ただし、最近ではインターネットでの予約割合が高くなっており、価格を少しでも上げると途端に入らなくなる傾向がある。	
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・平均して受注量が確保できているわけではないため、確実に回復しているとは言い難い。建設業、製造業が回復しきれしていないことが影響している。	
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・低単価志向、来客数の減少が徐々に進行している。また、愛知万博などの需要も一部あるが、発注は東京に流れるなど必ずしも地元利益が大きいわけではない。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来客数は戻りつつあるが、一方では客単価が上がらない状況もある。	
タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの動きはまだ良くないが、サラリーマン客からは多少良くなっているという話が出てきている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・近場の利用客が多いため、売上はなかなか伸びていかない。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・入札などで利益を最小限度に押さえている状態であり、まだ我慢の時期である。	
テーマパーク（総務担当）	単価の動き	・1～3月の園内客単価は相変わらず前年より低い傾向にある。観光への消費は上昇が感じられない。	
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来場者数、売上とも前年より増加しているが、目標金額には届いていない。	
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや個別単価には変化が見られない。	
パチンコ店（店長）	来客数の動き	・客単価など過去3か月の変化はあまり見られない。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅金融公庫は金利が少し上がったが、個人住宅の契約高に変化はない。	
やや悪くなっている	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温の寒暖が激しく、春物、初夏物とも販売に苦慮している。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は増加しているが、客単価はそれ以上に下がっている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・単価の低迷が続き、売上の減少につながっている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税総額表示に切り替わり、客の動きは鈍化している。客は様子見になって販売量は減少しており、単価もやや低下している。
	乗用車販売店（従業員）	それ以外	・グリーン税制の駆け込み需要の反動で来客数はかなり落ち込んでいる。車検や点検以外のサービス分野でも、部品の売上の落ち込みがあり厳しい。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・年度末の駆け込み需要の反動もあるが、受注、登録とも不調に終わっている。店頭でも活気が見られず、受注などに至った引き合い件数も計画を大きく下回る状態が続いている。 ・客からの値引き要求も非常に強く、利益を圧迫している。気に入った商品を少しでも安く購入したいという慎重な購買姿勢はより鮮明になっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客の来店回数が激減している。ゴールデンウィーク前後はひどいものである。

		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・卒入学シーズンが終わり、平日の来客数は減少している。	
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・前月の好調ぶりから一転して予約の伸びは急速に弱くなっており、前年を下回っている。	
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・大型店など競争相手が増えており、客が分散している。	
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。	
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年なら忙しい時期であるが、客が来ない。	
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても反応はほとんどない。	
	悪くなっている	家電量販店（店員）	競争相手の様子	・デジタル家電は好調であるがその他の商品は買い控えや客単価の低下が続いており、家電業界は厳しい状況にある。	
		その他サービス[珠算塾]（経営者）	来客数の動き	・新入学生の入塾は極めて少なく、辞める生徒は増加している。親の収入の減少により習い事の絞り込みが進んでいる。	
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて受注量、販売量ともに増加し、売上は26.1%増、経常利益は101.7%増である。公共施設の基盤整備に特需が出ているためである。	
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通常と比べて5%程受注量、販売量が増加している。	
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売単価はやや低下しているものの、受注量は拡大している。	
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・業界全体の動向として、価格は上昇していないが、量には伸びが見られる。	
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・実需はおう盛とは言えないが価格が急騰しており、一時的かもしれないが売上は伸びている。	
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・加工品の受注が増加傾向にあることに加えて、設備の引き合いも増加傾向である。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・以前に見積した案件をここへきて受注するケースが増加している。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設機械用製品の受注は前四半期比で約10%増となっている。ただし大半が輸出用であり、国内向けはまだ大きな伸びにはなっていない。	
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・客先で新設備の導入が進んでおり、新しいタイプの製品の引き合いが増えている。	
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・設備関連、特にプラント機械の荷動きが、ばらつきはあるものの確実に良くなっており、トラックへの積込台数が増えている。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・名古屋地域では貨物量は増加傾向にある。	
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・電波媒体、印刷媒体とも、出稿量は若干ながら上向いている。	
		新聞販売店[広告]（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシは前年比116%と予想以上に伸びている。	
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業などでもやや明るくなっている。	
		その他サービス業[ソフト開発]（社員）	取引先の様子	・開発案件の受注量が増加している。	
		その他非製造業[ソフト開発]（経営者）	競争相手の様子	・営業マンの様子は明るくライバル社も非常に繁忙であり、業界全体が良くなってきている。	
		変わらない	印刷業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の状況は、2、3か月どころか、ここ1年ほど変化がない。
			電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は年度末需要の終了に伴い1月の水準に戻っている。海外販売は前月よりわずかながら増加しているが、依然として低調である。
			電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・比較的低価格な汎用機種には需要があるが、高価格な自動機の動きが少ない。
			電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新たな案件がなかなか生まれない。

		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量より価格が当面の優先課題である。原材料価格の高騰に加えて、労賃の動きも一部引きずられている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の伸び率は前年比でやや減少している。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・一部企業では売上増加が見られるが、全体ではまだ回復基調には至っていない。
		企業広告制作業（経営者）	受注量や販売量の動き	・回復の兆しを感じたものの、実際には売上は伸びていない。
		公認会計士	取引先の様子	・顧問先企業の業況は上向きになっていない。 ・信用金庫の貸出先の業績、貸出内容などを見ても、業績回復の兆しは見えない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・新規に土地を購入する動きは鈍く、値下がり傾向は続いている。
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上げ要請が厳しい。しかし客先に価格を転嫁できる状況にはなく、それどころか値下げ要請がなお続いている。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注量が減少している。単価引下げ要求も依然として強い。
	悪くなっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格は依然として低下する傾向にある。これに対し、原材料などの値上がりが続いている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の新規オーダーが増加しており、スタッフ不足は続いている。特にIT関係など専門スキルを必要とするスタッフの不足が顕著である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣の新規受注は相変わらず好調であり、スタッフ不足が続いている。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・景気が上向きなため、良い条件の求人があれば転職を希望する在職の求職者が増えている。 ・企業では定年後の再雇用、雇用延長が多く見られるようになっている。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・静岡県内の有効求人倍率は1倍に近い状態で推移しているが、特に即戦力の製造技術者や小売店などの販売職で求人難になっている。しかし販売職には応募者が少なく各地で定員割れが見られる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞の求人広告では、社員、パート、アルバイトのすべてで数字が若干伸びている。 ・求人数は請負業では若干減っているが、全体的には建築関係や技術者などを中心に順調に伸びている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業業績は順調に推移しているようであり、求人数は増加している。ただし、請負や派遣の雇用が中心で積極的な雇用ではない面もある。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前と比較して有効求人数が20.1%増加し有効求職者数も9.7%増加したため、0.1ポイント上昇の1.17倍となっている。前月と比較すると、0.02ポイント低下と9か月ぶりに低下している。 ・業種別の求人は、前年同期と比較して、運輸・通信業、建設業、卸・小売業でそれぞれ27%、25.7%、5.9%減少しているが、大口のサービス業、製造業では各23.3%、0.4%増加しており、全体では6.1%の増加である。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・求人数は増加している。ただし請負、派遣が中心であり、求職者が求める正社員の常用就職は依然として不確定な要素が多い。	
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・取引先の求人数は増えており、1月と比べると約2割伸びてきている。	
変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	求職者数の動き	・引き続き自動車関連とIT関連の求人が活発である。しかしスキルが伴わないなどの理由で雇用に結び付かないケースも多い。また求職者数も減少しており、雇用のミスマッチは依然として解消されていない。	
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人ニーズは相変わらずおう盛だが、特に求人を中心とする技術系求職者数が不足しており、供給が追いついていない。	

やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求職者が増加している。退職理由別では事業主都合が前月比37%増加し、自己都合も18%増加している。有効求人数の増加幅を上回る有効求職者数の増加により、有効求人倍率は1.14倍に低下している。</li> <li>・前職無業者は前月比45%と大幅に増加しており、特に24歳以下の年齢層が大幅に増加している。</li> </ul>
悪くなっている	-	-	-